

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

特有の消火方法

異常な火災や爆発の危険性は考えられない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

適用しない。

環境に対する注意事項

適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

通常の使用条件のもとでは、本製品からの有害化学物質の放出は予想されない。

保管

適用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|----------|-------|-----------|-------------|------------------------------|
| アクリル系接着剤 | なし | ACGIH | TWA : 2 ppm | A4: ヒトの発がん性・感作性物質として分類されていない |
| アクリル系接着剤 | なし | JSOH OELs | 限界値は未設定 | 皮膚感作のおそれ |

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
 ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
 JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
 TWA : 時間加重平均値
 STEL : 短時間ばく露限界値
 ppm : 百万分率
 mg/m³ : ミリグラム/立方メートル
 CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

適用しない。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた手袋と保護衣を使用する。手袋と保護衣については使用状況に適した材質であるかどうかをメーカーに訊く。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵ばく露は予想されない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

| | |
|--------------|---------------|
| 外観 | 固体 |
| 物理的状态: | ロール状テープ。 |
| 形状、色、臭い | 透明又は黄褐色、アクリル臭 |
| 臭いの閾値 | データはない。 |
| pH | データはない。 |
| 融点・凝固点 | データはない。 |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データはない。 |
| 引火点 | データはない。 |
| 蒸発速度 | データはない。 |
| 引火性 (固体、ガス) | 区分されない。 |
| 燃焼点 (下限) | データはない。 |
| 燃焼点 (上限) | データはない。 |
| 蒸気圧 | データはない。 |
| 蒸気密度 | データはない。 |

| | |
|----------------|---------|
| 比重 | データはない。 |
| 溶解度 | データはない。 |
| 溶解度（水以外） | データはない。 |
| n-オクタノール/水分配係数 | データはない。 |
| 発火点 | データはない。 |
| 分解温度 | データはない。 |
| 粘度 | データはない。 |
| 揮発分 | データはない。 |

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

知見はない。

条件

特段の規定はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用時の皮膚刺激性は予想されない。

吸入した場合

人体への影響は考えられない。



飲み込んだ場合

人体への影響は考えられない。

追加情報

本製品を当社の推奨する方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、当社が推奨する使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。

毒性データ

急性毒性

名称経路生物種値又は判定結果

製品全体経口摂取分類にデータが利用できない、あるいは不足している：ATEで計算。

5,000mg/kg

ポリプロピレン皮膚LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ポリプロピレン経口摂取マウスLD50 > 8,000 mg/kg

アクリル系接着剤皮膚ウサギLD50 > 2,000 mg/kg

アクリル系接着剤吸入－蒸気（4時間）

ラットLC50 10.3 mg/l

アクリル系接着剤経口摂取ラットLD50 3,143 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレンヒト及び動物刺激性なし

アクリル系接着剤ウサギ刺激物

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレン刺激性なし

アクリル系接着剤ウサギ激しい刺激

皮膚感作性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレンヒト及び動物感作性なし

アクリル系接着剤マウス感作性あり

呼吸器感作性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系接着剤分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

生殖細胞変異原性

名称経路値又は判定結果

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。



アクリル系接着剤In vitro 変異原性なし

アクリル系接着剤In vivo 変異原性なし

発がん性

名称経路生物種値又は判定結果

ポリプロピレン特段の規定はない。ラット陽性データはあるが、分類には不十分。

アクリル系接着剤皮膚マウス発がん性なし

アクリル系接着剤吸入した場合ラット発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称経路値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系接着剤経口摂取雄性生殖毒性なしラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

アクリル系接着剤吸入した場合雄性生殖毒性なしラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤吸入した場合雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分。

ラットNOAEL 0.13mg/l

器官発生期

アクリル系接着剤経口摂取陽性データはあるが、分類には不十分。

マウスNOAEL 1,000mg/kg/day

器官発生期

アクリル系接着剤吸入した場合陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 0.13mg/l

器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称経路標的臓器値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン

分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系

接着剤吸入した場合呼吸器への刺激

呼吸器への刺激のおそれ。

ラットNOAEL 0.57mg/l

13 週

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称経路標的臓器値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン

分類にデータが利用できない、あるいは不足している。



アクリル系接着剤

吸入した場合内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 2.9mg/1

13 週

アクリル系接着剤

吸入した場合呼吸器系陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 0.11mg/1

13 週

アクリル系接着剤

吸入した場合心臓全て陰性ラットNOAEL 2.9mg/1

13 週

アクリル系接着剤

経口摂取腎臓および膀胱陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

アクリル系接着剤

経口摂取心臓 | 造血器系 | 肝臓 | 神経系全て陰性

ラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

吸引性呼吸器有害性

名称値又は判定結果

ポリプロピレン吸入毒性はない。

アクリル系接着剤吸入毒性はない。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

成分についての試験データはない。



残留性・分解性

試験データはない。

生体蓄積性

試験データはない。

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

物質及び混合物に適用する安全、健康、環境の法規制

主な法規制物質

| 成分 | 安衛法通知政令番号 | P R T R 政令番号 | 法規名 |
|----------|------------------|---------------------|-------------------|
| アクリル系接着剤 | 4(アクリル酸ノルマル-ブチル) | 第1種7(アクリル酸ノルマル-ブチル) | 毒物及び劇物取締法 該当なし |

日本国内法規制（主な適用法令）

成型品は毒物劇薬取締法、P R T R 法および労働安全衛生法の対象外。

消防法：指定可燃物（合成樹脂類 その他のもの 3000kg）

16. その他の情報

改訂情報

版改訂の情報はない。

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。



安全データシート

この安全データシートに記載した情報は、オーキッド製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。

(1) 当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更または、一部を抜粋して使用しないで下さい。

(2) 本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号 130002 版 1.00
発行日 2013/09/09 前発行日 初版

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 製品名及び会社情報

製品名

名称 オーキッドOPPテープ No. 152

会社情報

供給者 富士工業株式会社

所在地 東京本社 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル3階

担当部門 事業統括本部

電話番号 03-6859-2213

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本製品は成形品なのでGHS分類の対象外。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分 | CAS番号 | 重量% |
|----------|-------|---------|
| ポリプロピレン | なし | 30 - 80 |
| アクリル系接着剤 | なし | 20 - 70 |

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

特有の消火方法

異常な火災や爆発の危険性は考えられない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

適用しない。

環境に対する注意事項

適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

通常の使用条件のもとでは、本製品からの有害化学物質の放出は予想されない。

保管

適用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|----------|-------|-----------|-------------|------------------------------|
| アクリル系接着剤 | なし | ACGIH | TWA : 2 ppm | A4: ヒトの発がん性・感作性物質として分類されていない |
| アクリル系接着剤 | なし | JSOH OELs | 限界値は未設定 | 皮膚感作のおそれ |

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
 ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
 JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
 TWA : 時間加重平均値
 STEL : 短時間ばく露限界値
 ppm : 百万分率
 mg/m³ : ミリグラム/立方メートル
 CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

適用しない。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた手袋と保護衣を使用する。手袋と保護衣については使用状況に適した材質であるかどうかをメーカーに訊く。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵ばく露は予想されない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

| | |
|--------------|---------------|
| 外観 | 固体 |
| 物理的状态: | ロール状テープ。 |
| 形状、色、臭い | 透明又は黄褐色、アクリル臭 |
| 臭いの閾値 | データはない。 |
| pH | データはない。 |
| 融点・凝固点 | データはない。 |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データはない。 |
| 引火点 | データはない。 |
| 蒸発速度 | データはない。 |
| 引火性 (固体、ガス) | 区分されない。 |
| 燃焼点 (下限) | データはない。 |
| 燃焼点 (上限) | データはない。 |
| 蒸気圧 | データはない。 |
| 蒸気密度 | データはない。 |

| | |
|----------------|---------|
| 比重 | データはない。 |
| 溶解度 | データはない。 |
| 溶解度（水以外） | データはない。 |
| n-オクタノール/水分配係数 | データはない。 |
| 発火点 | データはない。 |
| 分解温度 | データはない。 |
| 粘度 | データはない。 |
| 揮発分 | データはない。 |

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

知見はない。

条件

特段の規定はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用時の皮膚刺激性は予想されない。

吸入した場合

人体への影響は考えられない。



飲み込んだ場合

人体への影響は考えられない。

追加情報

本製品を当社の推奨する方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、当社が推奨する使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。

毒性データ

急性毒性

名称経路生物種値又は判定結果

製品全体経口摂取分類にデータが利用できない、あるいは不足している：ATEで計算。

5,000mg/kg

ポリプロピレン皮膚LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ポリプロピレン経口摂取マウスLD50 > 8,000 mg/kg

アクリル系接着剤皮膚ウサギLD50 > 2,000 mg/kg

アクリル系接着剤吸入－蒸気（4時間）

ラットLC50 10.3 mg/l

アクリル系接着剤経口摂取ラットLD50 3,143 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレンヒト及び動物刺激性なし

アクリル系接着剤ウサギ刺激物

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレン刺激性なし

アクリル系接着剤ウサギ激しい刺激

皮膚感作性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレンヒト及び動物感作性なし

アクリル系接着剤マウス感作性あり

呼吸器感作性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系接着剤分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

生殖細胞変異原性

名称経路値又は判定結果

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。



アクリル系接着剤In vitro 変異原性なし

アクリル系接着剤In vivo 変異原性なし

発がん性

名称経路生物種値又は判定結果

ポリプロピレン特段の規定はない。ラット陽性データはあるが、分類には不十分。

アクリル系接着剤皮膚マウス発がん性なし

アクリル系接着剤吸入した場合ラット発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称経路値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系接着剤経口摂取雄性生殖毒性なしラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

アクリル系接着剤吸入した場合雄性生殖毒性なしラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤吸入した場合雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分。

ラットNOAEL 0.13mg/l

器官発生期

アクリル系接着剤経口摂取陽性データはあるが、分類には不十分。

マウスNOAEL 1,000mg/kg/day

器官発生期

アクリル系接着剤吸入した場合陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 0.13mg/l

器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称経路標的臓器値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン

分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系

接着剤吸入した場合呼吸器への刺激

呼吸器への刺激のおそれ。

ラットNOAEL 0.57mg/l

13 週

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称経路標的臓器値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン

分類にデータが利用できない、あるいは不足している。



アクリル系接着剤

吸入した場合内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤

吸入した場合呼吸器系陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 0.11mg/l

13 週

アクリル系接着剤

吸入した場合心臓全て陰性ラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤

経口摂取腎臓および膀胱陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

アクリル系接着剤

経口摂取心臓 | 造血器系 | 肝臓 | 神経系全て陰性

ラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

吸引性呼吸器有害性

名称値又は判定結果

ポリプロピレン吸入毒性はない。

アクリル系接着剤吸入毒性はない。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

成分についての試験データはない。



残留性・分解性

試験データはない。

生体蓄積性

試験データはない。

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

物質及び混合物に適用する安全、健康、環境の法規制

主な法規制物質

| 成分 | 安衛法通知政令番号 | P R T R 政令番号 | 法規名 |
|----------|------------------|---------------------|-------------------|
| アクリル系接着剤 | 4(アクリル酸ノルマル-ブチル) | 第1種7(アクリル酸ノルマル-ブチル) | 毒物及び劇物取締法 該当なし |

日本国内法規制（主な適用法令）

成型品は毒物劇薬取締法、P R T R 法および労働安全衛生法の対象外。

消防法：指定可燃物（合成樹脂類 その他のもの 3000kg）

16. その他の情報

改訂情報

版改訂の情報はない。

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。



安全データシート

この安全データシートに記載した情報は、オーキッド製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。

(1) 当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更または、一部を抜粋して使用しないで下さい。

(2) 本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号 130003 版 1.00
発行日 2013/09/09 前発行日 初版

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 製品名及び会社情報

製品名

名称 オーキッドOPPテープ No. 165

会社情報

供給者 富士工業株式会社

所在地 東京本社 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル3階

担当部門 事業統括本部

電話番号 03-6859-2213

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本製品は成形品なのでGHS分類の対象外。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分 | CAS番号 | 重量% |
|----------|-------|---------|
| ポリプロピレン | なし | 30 - 80 |
| アクリル系接着剤 | なし | 20 - 70 |

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

特有の消火方法

異常な火災や爆発の危険性は考えられない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

適用しない。

環境に対する注意事項

適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

通常の使用条件のもとでは、本製品からの有害化学物質の放出は予想されない。

保管

適用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|----------|-------|-----------|-------------|------------------------------|
| アクリル系接着剤 | なし | ACGIH | TWA : 2 ppm | A4: ヒトの発がん性・感作性物質として分類されていない |
| アクリル系接着剤 | なし | JSOH OELs | 限界値は未設定 | 皮膚感作のおそれ |

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
 ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
 JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
 TWA : 時間加重平均値
 STEL : 短時間ばく露限界値
 ppm : 百万分率
 mg/m³ : ミリグラム/立方メートル
 CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

適用しない。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた手袋と保護衣を使用する。手袋と保護衣については使用状況に適した材質であるかどうかをメーカーに訊く。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵ばく露は予想されない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

| | |
|--------------|---------------|
| 外観 | 固体 |
| 物理的状态: | ロール状テープ。 |
| 形状、色、臭い | 透明又は黄褐色、アクリル臭 |
| 臭いの閾値 | データはない。 |
| pH | データはない。 |
| 融点・凝固点 | データはない。 |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データはない。 |
| 引火点 | データはない。 |
| 蒸発速度 | データはない。 |
| 引火性 (固体、ガス) | 区分されない。 |
| 燃焼点 (下限) | データはない。 |
| 燃焼点 (上限) | データはない。 |
| 蒸気圧 | データはない。 |
| 蒸気密度 | データはない。 |

| | |
|----------------|---------|
| 比重 | データはない。 |
| 溶解度 | データはない。 |
| 溶解度（水以外） | データはない。 |
| n-オクタノール/水分配係数 | データはない。 |
| 発火点 | データはない。 |
| 分解温度 | データはない。 |
| 粘度 | データはない。 |
| 揮発分 | データはない。 |

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

知見はない。

条件

特段の規定はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用時の皮膚刺激性は予想されない。

吸入した場合

人体への影響は考えられない。



飲み込んだ場合

人体への影響は考えられない。

追加情報

本製品を当社の推奨する方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、当社が推奨する使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。

毒性データ

急性毒性

名称経路生物種値又は判定結果

製品全体経口摂取分類にデータが利用できない、あるいは不足している：ATEで計算。

5,000mg/kg

ポリプロピレン皮膚LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ポリプロピレン経口摂取マウスLD50 > 8,000 mg/kg

アクリル系接着剤皮膚ウサギLD50 > 2,000 mg/kg

アクリル系接着剤吸入－蒸気（4時間）

ラットLC50 10.3 mg/l

アクリル系接着剤経口摂取ラットLD50 3,143 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレンヒト及び動物刺激性なし

アクリル系接着剤ウサギ刺激物

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレン刺激性なし

アクリル系接着剤ウサギ激しい刺激

皮膚感作性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレンヒト及び動物感作性なし

アクリル系接着剤マウス感作性あり

呼吸器感作性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系接着剤分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

生殖細胞変異原性

名称経路値又は判定結果

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。



アクリル系接着剤In vitro 変異原性なし

アクリル系接着剤In vivo 変異原性なし

発がん性

名称経路生物種値又は判定結果

ポリプロピレン特段の規定はない。ラット陽性データはあるが、分類には不十分。

アクリル系接着剤皮膚マウス発がん性なし

アクリル系接着剤吸入した場合ラット発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称経路値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系接着剤経口摂取雄性生殖毒性なしラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

アクリル系接着剤吸入した場合雄性生殖毒性なしラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤吸入した場合雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分。

ラットNOAEL 0.13mg/l

器官発生期

アクリル系接着剤経口摂取陽性データはあるが、分類には不十分。

マウスNOAEL 1,000mg/kg/day

器官発生期

アクリル系接着剤吸入した場合陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 0.13mg/l

器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称経路標的臓器値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン

分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系

接着剤吸入した場合呼吸器への刺激

呼吸器への刺激のおそれ。

ラットNOAEL 0.57mg/l

13 週

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称経路標的臓器値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン

分類にデータが利用できない、あるいは不足している。



アクリル系接着剤

吸入した場合内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤

吸入した場合呼吸器系陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 0.11mg/l

13 週

アクリル系接着剤

吸入した場合心臓全て陰性ラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤

経口摂取腎臓および膀胱陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

アクリル系接着剤

経口摂取心臓 | 造血器系 | 肝臓 | 神経系全て陰性

ラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

吸引性呼吸器有害性

名称値又は判定結果

ポリプロピレン吸入毒性はない。

アクリル系接着剤吸入毒性はない。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

成分についての試験データはない。



残留性・分解性

試験データはない。

生体蓄積性

試験データはない。

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

物質及び混合物に適用する安全、健康、環境の法規制

主な法規制物質

| 成分 | 安衛法通知政令番号 | P R T R 政令番号 | 法規名 |
|----------|------------------|---------------------|-------------------|
| アクリル系接着剤 | 4(アクリル酸ノルマル-ブチル) | 第1種7(アクリル酸ノルマル-ブチル) | 毒物及び劇物取締法 該当なし |

日本国内法規制（主な適用法令）

成型品は毒物劇薬取締法、P R T R 法および労働安全衛生法の対象外。

消防法：指定可燃物（合成樹脂類 その他のもの 3000kg）

16. その他の情報

改訂情報

版改訂の情報はない。

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。



安全データシート

この安全データシートに記載した情報は、オーキッド製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。

(1) 当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更または、一部を抜粋して使用しないで下さい。

(2) 本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号 130004 版 1.00
発行日 2015/01/28 前発行日 初版

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 製品名及び会社情報

製品名

名称 オーキッドOPPテープ No. 190

会社情報

供給者 富士工業株式会社

所在地 東京本社 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル3階

担当部門 事業統括本部

電話番号 03-6859-2213

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本製品は成形品なのでGHS分類の対象外。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分 | CAS番号 | 重量% |
|----------|-------|---------|
| ポリプロピレン | なし | 30 - 80 |
| アクリル系接着剤 | なし | 20 - 70 |

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

特有の消火方法

異常な火災や爆発の危険性は考えられない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

適用しない。

環境に対する注意事項

適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

通常の使用条件のもとでは、本製品からの有害化学物質の放出は予想されない。

保管

適用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|----------|-------|-----------|-------------|------------------------------|
| アクリル系接着剤 | なし | ACGIH | TWA : 2 ppm | A4: ヒトの発がん性・感作性物質として分類されていない |
| アクリル系接着剤 | なし | JSOH OELs | 限界値は未設定 | 皮膚感作のおそれ |

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
 ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
 JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
 TWA : 時間加重平均値
 STEL : 短時間ばく露限界値
 ppm : 百万分率
 mg/m³ : ミリグラム/立方メートル
 CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

適用しない。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた手袋と保護衣を使用する。手袋と保護衣については使用状況に適した材質であるかどうかをメーカーに訊く。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵ばく露は予想されない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

| | |
|--------------|---------------|
| 外観 | 固体 |
| 物理的状态: | ロール状テープ。 |
| 形状、色、臭い | 透明又は黄褐色、アクリル臭 |
| 臭いの閾値 | データはない。 |
| pH | データはない。 |
| 融点・凝固点 | データはない。 |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データはない。 |
| 引火点 | データはない。 |
| 蒸発速度 | データはない。 |
| 引火性 (固体、ガス) | 区分されない。 |
| 燃焼点 (下限) | データはない。 |
| 燃焼点 (上限) | データはない。 |
| 蒸気圧 | データはない。 |
| 蒸気密度 | データはない。 |

| | |
|----------------|---------|
| 比重 | データはない。 |
| 溶解度 | データはない。 |
| 溶解度（水以外） | データはない。 |
| n-オクタノール/水分配係数 | データはない。 |
| 発火点 | データはない。 |
| 分解温度 | データはない。 |
| 粘度 | データはない。 |
| 揮発分 | データはない。 |

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

知見はない。

条件

特段の規定はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用時の皮膚刺激性は予想されない。

吸入した場合

人体への影響は考えられない。



飲み込んだ場合

人体への影響は考えられない。

追加情報

本製品を当社の推奨する方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、当社が推奨する使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。

毒性データ

急性毒性

名称経路生物種値又は判定結果

製品全体経口摂取分類にデータが利用できない、あるいは不足している：ATEで計算。

5,000mg/kg

ポリプロピレン皮膚LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ポリプロピレン経口摂取マウスLD50 > 8,000 mg/kg

アクリル系接着剤皮膚ウサギLD50 > 2,000 mg/kg

アクリル系接着剤吸入－蒸気（4時間）

ラットLC50 10.3 mg/l

アクリル系接着剤経口摂取ラットLD50 3,143 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレンヒト及び動物刺激性なし

アクリル系接着剤ウサギ刺激物

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレン刺激性なし

アクリル系接着剤ウサギ激しい刺激

皮膚感作性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレンヒト及び動物感作性なし

アクリル系接着剤マウス感作性あり

呼吸器感作性

名称生物種値又は判定結果

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系接着剤分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

生殖細胞変異原性

名称経路値又は判定結果

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。



アクリル系接着剤In vitro 変異原性なし

アクリル系接着剤In vivo 変異原性なし

発がん性

名称経路生物種値又は判定結果

ポリプロピレン特段の規定はない。ラット陽性データはあるが、分類には不十分。

アクリル系接着剤皮膚マウス発がん性なし

アクリル系接着剤吸入した場合ラット発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称経路値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系接着剤経口摂取雄性生殖毒性なしラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

アクリル系接着剤吸入した場合雄性生殖毒性なしラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤吸入した場合雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分。

ラットNOAEL 0.13mg/l

器官発生期

アクリル系接着剤経口摂取陽性データはあるが、分類には不十分。

マウスNOAEL 1,000mg/kg/day

器官発生期

アクリル系接着剤吸入した場合陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 0.13mg/l

器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称経路標的臓器値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン

分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

アクリル系

接着剤吸入した場合呼吸器への刺激

呼吸器への刺激のおそれ。

ラットNOAEL 0.57mg/l

13 週

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称経路標的臓器値又は判定結果生物種試験結果 ばく露期間

ポリプロピレン

分類にデータが利用できない、あるいは不足している。



アクリル系接着剤

吸入した場合内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤

吸入した場合呼吸器系陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 0.11mg/l

13 週

アクリル系接着剤

吸入した場合心臓全て陰性ラットNOAEL 2.9mg/l

13 週

アクリル系接着剤

経口摂取腎臓および膀胱陽性データはあるが、分類には不十分。

ラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

アクリル系接着剤

経口摂取心臓 | 造血器系 | 肝臓 | 神経系全て陰性

ラットNOAEL 84mg/kg/day

13 週

吸引性呼吸器有害性

名称値又は判定結果

ポリプロピレン吸入毒性はない。

アクリル系接着剤吸入毒性はない。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

成分についての試験データはない。



残留性・分解性

試験データはない。

生体蓄積性

試験データはない。

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

物質及び混合物に適用する安全、健康、環境の法規制

主な法規制物質

| 成分 | 安衛法通知政令番号 | P R T R 政令番号 | 法規名 |
|----------|------------------|---------------------|-------------------|
| アクリル系接着剤 | 4(アクリル酸ノルマル-ブチル) | 第1種7(アクリル酸ノルマル-ブチル) | 毒物及び劇物取締法 該当なし |

日本国内法規制（主な適用法令）

成型品は毒物劇薬取締法、P R T R 法および労働安全衛生法の対象外。

消防法：指定可燃物（合成樹脂類 その他のもの 3000kg）

16. その他の情報

改訂情報

版改訂の情報はない。

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。